

# 消防団たずね歩き

## 須磨消防団第5分団紹介

須磨消防団第5分団は、分団長以下17人、年齢は20代から60代、職種も多岐にわたりそれぞれの特徴を生かした消防団活動をおこなっています。

市民救命士講習にも積極的に参加し、救急インストラクター資格保持者は6人を数え防災福祉コミュニティの集まりなどで指導にあたっています。

管轄する地域は、山陽月見山駅を中心に、東は天井川、西は離宮道、南はJR須磨海浜公園駅、北は神戸女子大学、須磨離宮公園を含む須磨アルプスです。

今年は、念願であった老朽化した詰所の建て替えが、消防局、須磨消防署、地域の皆さまのご理解ご協力のもとに2月20日に完了しました。そして4月23日に新詰所お披露目として開所式をおこない、関係各位の皆さまにご出席いただきました。なお、新詰所の概要は、敷地38.68㎡、鉄筋造2階建延43.05㎡で1階に小

型動力ポンプ、資機材等を置き、2階は分団会議等がおこなえる団員待機場所となっています。

新しい詰所が地域の防災活動拠点としてその役割を果たしてまいります。

また、今年は10月29日に市民防災総合センターで開催される第13回神戸市消防団小型動力ポンプ操法大会に須磨消防団を代表して出場することが決まり、6月25日に発隊式をおこない団員一丸となって訓練に励んでいます。



平成29年は、須磨消防団第5分団にとって詰所建て替え、小型動力ポンプ操法大会出場と新たなスタートの一年となりますが、消防団活動の原点を忘れず、謙虚に日々の活動を大切にまいります。

これからも地域の皆さまのご期待に沿えるよう努力してまいりますのでご支援賜りますようお願いいたします。

(須磨消防団第5分団 藤原英喜)



**地域に根付いた消防団を目ざしています!**

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局  
神戸市消防団

